

R L S (Restless Legs Syndrome)の2例

千崎 香 (天理市立病院 臨床検査室)

<はじめに>

Restless Legs Syndrome (以下 RLS) は、むずむず脚症候群と言われ、今まで日本ではほとんど知られていない疾患であったが、最近 TV・新聞等で取り上げられ注目されるようになった。RLS とは、神経学的疾患であり、不快で耐え難い下肢の異常な感覚を伴って下肢を動かしたくなる衝動が夜間に出現し、不眠や日中の眠気をもたらすことが特徴で睡眠障害疾患でもある。今回、当院で PSG を行った RLS 2 例について報告する。

<症例1> 33歳 女性 147cm 36kg

<主訴> 足のいらいら、日中の眠気

<既往歴> なし

<現病歴> 中学生の頃より下肢むずむず感あり。夜間入眠時に足がイライラし動かしたくなる衝動あり、朝には消失。入眠が困難、日中の眠気もひどくなってきている。最近はずたね時も足のピクツキ。上肢にも症状を認める。ESS 11/24

<結果>

- ・ 血液検査 RBC 348万, Hb 10.3g/dl, Fe77 μ g/dl, フェリチン 3.4ng/ml
- ・ PSG 検査 TDT 540, TST 366, ST1 117, ST2 171, SMS 23.5, SREM 54.5 (min)
AHI 2, ODI3 1.6, ArI 44.6,
PLM 401回, PLM I 65.7, PLM ArI 24.4

<症例2> 68歳 男性 156cm 63kg

<主訴> 足の不快感、不眠、日中の眠気

<既往歴> なし

<現病歴> 約20年前から夜間の下肢の変な感覚があり、トイレに行くと改善した。皮膚科など受診するが原因不明のままであった。4~5年前からは症状が増悪、

夜間むずむずしじっとしていらなくなり、マッサージ、ストレッチなどで改善するようになった。この頃より日中の眠気も自覚するようになった。ESS 13/24

<結果>

- ・ 血液検査 RBC 515万, Hb 15.8g/dl, Fe99 μ g/dl, フェリチン 21ng/ml
- ・ PSG 検査 TDT 540, TST 235.5, ST1 93, ST2 102, SMS 3.5, SREM 37 (min)
AHI 24.2, ODI3 7.4, ArI 68.3,
PLM 418回, PLM I 107.2, PLM ArI 46.9

<まとめ>

RLS を診断するための特異的な検査方法がないのが現状である。PSG 検査の所見は睡眠効率が悪く、Ar I が高く PLMs は頻回認める。RLS 患者は8~9割に PLMs を頻回認めるが RLS の確定診断には至らない。

今回の2症例は、ICSD の診断基準の4項目の症状を満たし、PSG 検査においても PLMs を認めることから RLS と診断した。

PSG 検査は、主に SAS (睡眠時無呼吸症候群) の診断には用いられているのが現状であるが、今回のように RLS などの睡眠障害の把握にも有用である。

連絡先 0745-63-1821 (内線764)